



研究キーワード

気象観測, 雲海予測, ヒートアイランド現象, 熱中症

重田 祥範

准教授

SHIGETA, Yoshinori

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

shigeta@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目 気象学概論, 大気環境学, 地球システム学

■ 研究者略歴

2011 (平成23) 年 3月	岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程 修了
2011 (平成23) 年 4月	立正大学地球環境科学部環境システム学科 助教 (~2015年3月)
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師 (~2017年3月)
2017 (平成29) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 准教授
2017 (平成29) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻 准教授

Research

■ 取得学位 博士 (理学) (岡山大学)

■ 専門分野 局地気象学, 生気象学, 環境工学, 地学教育

■ 現在の研究テーマ

- ・都市内の大気環境調査および熱中症リスクの評価
- ・盆地霧の発生・消滅過程の予測
- ・気象の「見える化」と自然災害軽減に向けた気象情報の活用法
- ・暑熱ストレスによる動物行動の変化 (バイオロギング)
- ・ストレスモニタリングによるセラピー効果の検証
- ・気象変化が若年女性の自律神経活動に与える影響

■ 受賞歴 2014 (平成26) 年 7月 第9回全国大会ベストポスター賞 (日本ヒートアイランド学会)
2015 (平成27) 年 11月 平成27年度 日本生気象学会研究奨励賞 (日本生気象学会)

■ 所属学会 日本気象学会, 日本生気象学会, 日本農業気象学会, 日本地理学会, 日本地学教育学会, 日本建築学会, 日本ヒートアイランド学会, 土木学会, 大気環境学会, 環境情報科学センター, バイオクリマ研究会

■ 資格 中学校教諭専修免許状 (理科), 高等学校教諭専修免許状 (理科), 健康気象アドバイザー

Data

■ 研究等活動

【著書】

- ・「こちら公立鳥取環境大学環境学部です!」, (共著), 2019年, 今井出版, 36-45.
- ・「環境のサイエンスを学ぼうー正しい実験・実習を行うためにー」, (共著), 2016年, 丸善プラネット出版.
- ・「環境のサイエンスを学ぼうー人と地球の未来のためにー」, (共著), 2011年, 丸善プラネット出版.

【論文 (2020年: 査読あり)】

- ・「ドローン技術を活用した霧の鉛直気象情報の観測」 (共著), 2020年, 環境情報科学センター, 環境情報科学学術研究論文集34 No.34 228 - 233.
- ・「風の乱れが引き起こす発電損失ー理論値と実測値の差ー」 (共著), 2020年, 日本風工学会, 風工学シンポジウム論文集 26 59 - 66.

【国際会議】

- ・「Impact on crops due to high temperature in Toyooka City, Hyogo Prefecture」 (単著), 2021, International Symposium on Agricultural Meteorology 2021 (Online conference)
- ・「Ground inversion layer that occurs in Hoki Daisen」 (単著), 2021, International Symposium on Agricultural Meteorology 2021 (Online conference)
- ・「Radiation fogs extinction process estimated from illuminance change」 (単著), 2020, International Symposium on Agricultural Meteorology 2020 (Osaka, Japan)
- ・「The Thermal Environment of the Hanshin Area Brought by Thermal Local Circulation of the Rokko Mountains」 (共著), 2019, Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 16th Annual Meeting (Republic of Singapore).
- ・「Verification of Thermal Environments and Temperature Reduction Effects in the Kumamoto Castle Park Using WBGT」 (共著), 2019, Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 16th Annual Meeting (Republic of Singapore).
- ・「Hot Environments and Temperature Reduction Effects within Large Urban Green SpacesーMeteorological Observations Around the Kumamoto Castle Parkー」 (共著), 2019, International Symposium on Agricultural Meteorology (Shizuoka, Japan)

【招待講演】

- ・「気象と環境変化が自律神経バランスに与える影響」, 日本建築学会, AIJ シンポジウム「スマートウェルネスオフィスの未来」, 2021年.
- ・「雲海予報は観光振興の呼び水になるのか!?ー霧の発生メカニズムを探るー」, 2019年度鳥取地学会年末講演会 (鳥取).
- ・「気象災害軽減に向けた防災情報の活用法」 2019年度鳥取市防災リーダーフォローアップ研修 (鳥取).
- ・「IoT技術の進展がもたらす気象観測データの有用性」 2019年度 IHIグループ 明星電気ビジネスパートナーミーティング (東京).

【国内学会: 筆頭講演者】

- ・「中国地方における花粉飛散量と気象要素の関係性」 (共著), 2020, 2020年度日本農業気象学会中国四国支部大会 (オンライン大会).
- ・「宇都宮市で発生するヒートアイランドと土地被覆形態の関係」 (共著), 2020, 2020年日本地理学会秋季学術大会 (オンライン大会).
- ・「風の乱れが引き起こす発電損失ー理論値と実測値の差ー」 (共著), 2020, 日本風工学会, 第26回風工学シンポジウム (オンライン大会).
- ・「岡山県津山盆地における湿度変化と照度の関係性ー地上観測から推定する霧の消滅過程ー」 (単著), 2020, 日本気象学会2020年秋季大会 (オンライン大会).
- ・「大分県日田盆地で発生する放射霧の動態ータイムラプスカメラによる霧の定点観測ー」 (単著), 2020, 日本気象学会2020年秋季大会 (オンライン大会).
- ・「急激な気象変化が若年女性の自律神経バランスに与える影響」 (共著), 2020, 日本気象学会2020年春季大会 (神奈川).
- ・「照度と湿度変化から推定される放射霧の消滅過程ー岡山県津山盆地を例としてー」 (単著), 2020, 日本気象学会2020年春季大会 (神奈川).

■ 社会貢献活動

- ・ NPO法人バイオクリマ研究会 理事 (2014年5月~)
- ・ 日本ヒートアイランド学会 学会誌委員 (2016年6月~)
- ・ 日本生気象学会評議員 (2019年10月~)
- ・ 鳥取県環境影響評価審査会委員 (2016年9月~)